

HART

年末は12/30まで
年始は1/12から
開館

51

HYOGO PREFECTURAL MUSEUM OF ART

兵庫県立美術館

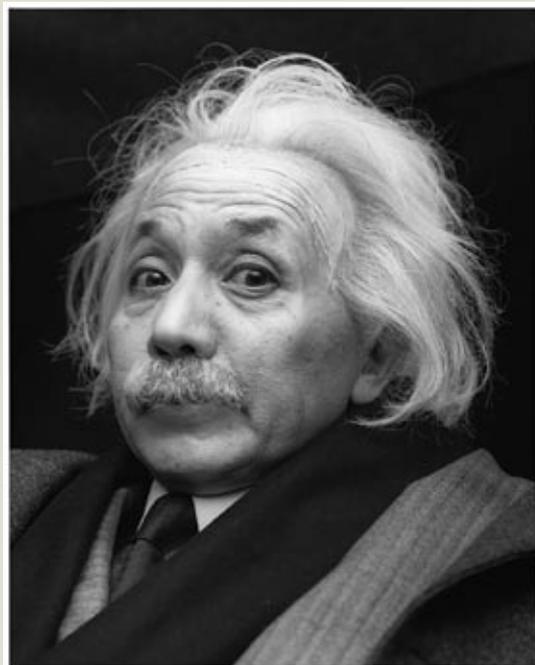
Morimura Yasumasa A Requiem: Art on Top of the Battlefield

森村泰昌

なにものかへのレクイエム—戦場の頂上の芸術

2011年1.18火~4.10日

美術史上の名画の登場人物や映画女優に自らが扮するセルフポートレイトの写真作品で知られる美術家、森村泰昌(1951-)。20世紀の歴史と男たちをテーマとする話題の新作シリーズ《なにものかへのレクイエム》を完全版で通覧する個展を開催します。森村の地元、関西では12年振りとなる美術館規模の個展で、全作品が関西初の展示となります。なおコレクション展でも、森村の小企画展を開催中。それぞれ以下の日程で関連イベントも実施します(詳しくは中面をご覧ください)。



《なにものかへのレクイエム(宙の夢/アルベルト1)》2007年

関連イベント

自作を語る/レクイエム、それから

●1月23日(日)14:00~15:30

ミュージアムホールにて 講師:森村泰昌氏(出品作家)
(定員230名、当日11:00より整理券配布) 聴講無料
※兵庫県立美術館「芸術の館友の会」との共催事業

ミュージアム・ボランティアによる見どころ案内

●会期中の毎週日曜日 11:00~(約15分)



アンリ・リッザー(赤ん坊のお祝い!)1903年

ゴッホも、ルノワールも、すべてが日本初公開!!

ザ・コレクション・ ヴァンタートゥール

Masterpieces from the Collection of the Kunstmuseum

Winterthur

12.26日まで

スイス北東にあるヴァンタートゥールは、人口10万人ほどの小都市ですが、優れた美術作品が公開されていることで知られています。本展は、ヴァンタートゥール美術館のコレクションを初めて日本で紹介するものです。ドラクロワに始まり、ルノワールやファン・ゴッホ、ピカソ、ジャコメッティまで、スイスやドイツの美術もあわせ、19世紀半ばから20世紀半ばまでのヨーロッパ美術の流れをたどります。作品はすべて日本初公開です。



フィンセント・ファン・ゴッホ
《郵便配達人 ジョゼフ・ルーラン》1888年

関連イベント

記念講演会 兵庫EU協会創立20周年事業

「ヨーロッパ近代絵画を見る眼—保存修復の視点から」

●12月5日(日)14:00~15:30

講師:大原秀之(絵画修復家・吉備国際大学文化財学部教授)
ミュージアムホール(定員250名 聴講無料)

学芸員による解説会

●12月11日(土)、12月25日(土)

いずれも16:00~(約40分)

レクチャールーム(定員100名 聴講無料)

おやこ解説会「ひげの男をさがせ!」

●12月4日(土)13:30~14:00

レクチャールーム(定員100名 聴講無料)

ミュージアム・ボランティアによる解説会

●会期中毎週日曜日 11:00~(約15分)

レクチャールーム(定員100名 聴講無料)

ザ・コレクション・ヴァンタートゥール

一般1,300(1,100)円・大学生900(700)円・高校生・65歳以上650(550)円・中学生以下無料

()内は前売および20名以上の団体割引料金(高校生・65歳以上は前売なし)

森村泰昌「なにものかへのレクイエム—戦場の頂上の芸術」

一般1,200(1,000)円・大学生900(700)円・高校生・65歳以上600(500)円・中学生以下無料

()内は前売および20名以上の団体割引料金(高校生・65歳以上は前売なし)